

空蟬(各・大・横・池・秀・肖・三・伊・兼・穂・吉・徹・証・正)

00 85-01 まゝにはまゝに各横池肖三伊穂徹証正まゝには各※

00 85-02 よをナシ吉

00 85-02 はつかしくてはつかしうて肖三伊穂徹正

00 85-02 なからふましうなからふましく各横池秀肖

三伊兼吉徹証正へえなからふましく「朱濃墨」伊

00 85-04 いといとへしも「朱濃墨」伊

00 85-04 さまかよひたるもさまへもにかよひたるも各さまにかよひたるも横肖徹証正さまへにかよひたるも「未見横」さまかよひたるも池にかよひたるも秀三伊兼穂証正さまにかよひたるも三にかよひたるを(も)穂

00 85-05 あなかちにあなかちへに秀

00 85-05 かゝつらひたとりよらむもかゝつらひたとりよらんも穂

00 85-06 やうにも様にも伊

00 85-06 まつはさすまとはさす横肖吉徹証正ま(つ)はさす三

00 85-07 夜ふかう夜ふかく池秀伊兼証よふかう穂吉

00 85-07 いといとをしくいとをしく各いとをしく「をノ上カラおヲ書クカ」秀いとをしく肖徹証正いとへいとをしく三いとをしく穂

00 85-07 女もをんなを(も)「ミセケチアルカ」穂

00 85-08 御せうそこも御せうそこ(も)大御せうそくも穂

00 85-08 たえてなしたえてしなし「秀ノ先出しカ」秀伊兼

00 85-08 おほしこりにけると思にもおほしこりにける(と思)にも三お(ほ)しこりにけりと思ふにも「墨」伊

00 85-09 やみ給なましかはやみ(給)なましかは横やみなましかは吉

00 85-09 しりてし(ひ)る(ゐ)て伊いと、穂

00 85-09 御ふるまひの御ふるまひ徹証

00 85-10 ほとにほとにて各ほとにて横池三穂吉証程にへて三※

00 85-10 かくてかく穂

00 85-10 とちめてんととちめてんと各とちめんと肖徹証とちめてむと伊

00 85-11 たゝならずたゝならず「ぬノ上カラすヲ書クカ」穂

00 85-11 なかめかちなりなかめ(か)ちなり各

00 85-11 えやむましうへえやむましう横

00 85-12 おもほしお(も)ほし横おほし肖三徹証

00 85-12 こ君にこの君に穂

00 85-12 うれたうもうれたくも池秀肖三伊兼徹証正

00 85-14 たいめむた(い)めむ大たいめ伊兼

00 86-01 のたまひまつはすは物のたまはす「のニミセケチカ」穂

00 86-01 うれしううれしく(う)横うれしく伊

00 86-02 おりとをり(へ)と各おりにと肖三徹証(お)りと伊をりをと穂

00 86-02 なとなんと横

00 86-03 たと(け)なるた(け)なる各たつ(け)なる伊

00 86-03 め(い)て「ぬノ上カラいヲ書ク」伊

00 86-04 のとむましければのとむましかりければ各横池秀肖三伊兼穂吉徹証正のとむまし(かり)ければ「墨」伊

00 86-05 すかたにてすかたにて(かたにしなして)各

00 86-05 さぎにとまきれにと伊

00 86-05 おはす(お)はす伊

00 86-05 かたよりかたより(車)各

00 86-06 おろし(お)ろし伊

00 86-06 ついせうつ(い)そう池秀兼証つ(い)せう伊

00 86-07 心やすし心やみし兼

00 86-07 ひむかしの陣(東)の伊

00 86-07 つま(と)兼

00 86-07 たてまつりてたてまつりて肖吉たてたてまつりて肖たて(まつり)徹証

00 86-07 われは我(み)は横

00 86-07 すみのまよりす(の)もとより吉

00 86-08 こたち(此)こたち「墨」伊

00 86 | 08 といふなりへといふなり秀
 00 86 | 09 おろされたるを(お)ろされたる伊
 00 86 | 09 ととへは「と」とて(へ)は(吉)
 00 86 | 09 御かたの御方秀※
 00 86 | 09 わたらせ給てへわたらせ給て吉
 00 86 | 09 こうたせ又うたせ「碁振漢字」兼
 00 86 | 10 おもひておほひて伊
 00 86 | 10 あゆみいて、あゆみいて池あゆみいてて
 秀
 00 86 | 12 にしさまに西をへさまに「朱ミセケチ中田
 解説、墨」伊
 00 86 | 12 みとをし見と陸(ほ)し伊
 00 86 | 12 ひやう風ひやう風も各池秀肖三伊兼穂徹証
 正ひやう風(も)各※
 00 86 | 12 はしのかたはしのかたはしのかたに吉
 00 86 | 12 をしたまられたるにおしたまられたる
 吉
 00 86 | 13 あつければにやあつければ(に)や池あつければ
 れは「に」や吉
 00 86 | 13 うちかけてうちかけてへとりやりなるとした
 れは「ヨイカ」各
 00 86 | 13 いとよくいとよく「墨」伊ナシ兼徹正
 00 86 | 14 なかはしらになかはしらに「ヨイカ」
 徹
 00 86 | 14 わか心かくると我心かくると(人ならむと)
 「朱濃墨」伊
 00 86 | 14 まつへまつ秀
 00 87 | 01 なめりなにかなんめりなにか横にや
 吉

00 87 | 02 ほそやかにほそやかにて吉
 00 87 | 02 などはなとも池秀三伊兼穂徹証正などは
 (も)三
 00 87 | 02 さしむかひたらむさしむかひたる池三穂
 証さしむかひたらん(る)三
 00 87 | 03 なのにもなとへにも「濃墨」伊へなにも
 吉
 00 87 | 03 もてなしたりてつきやせへていたうひき
 かくしためりもてなしたりてつきやせへ
 としていたうひきかくしためり「符号アル
 カ」証
 00 87 | 03 やせへてやせへてとして肖徹証正やせ
 へてし(に)て三
 00 87 | 04 ためりた「め」り吉
 00 87 | 04 ひむかしむきにてひんかしむきにて吉
 00 87 | 04 うす物のうす物か「か」のノ誤写カ「穂
 00 87 | 05 ないかしろにないかしろへに徹
 00 87 | 06 おかしけにを(お)かしけに伊
 00 87 | 07 こゑてへこゑて「墨」伊
 00 87 | 07 そろかななるそろかななる秀
 00 87 | 08 いとあひきやうつきへいとあひ行き吉
 00 87 | 09 なかくは長くは「墨」伊なかうは穂
 00 87 | 09 さかりはさかり穂
 00 87 | 09 ほとほとに兼
 00 87 | 09 きよけにいとよけに横池伊兼いとよけ
 けに秀肖三穂徹証正いとよけにて「墨」
 伊兼※
 00 87 | 09 いとナシ池三兼穂証いと三へいと「墨」伊
 ※

00 87 | 10 おかしけなるを(お)かしけなる伊
 00 87 | 10 人と人穂
 00 87 | 10 おやの陸(お)やの伊をやのの穂
 00 87 | 10 よになくは世にに歟なくは「濃墨」伊
 00 87 | 10 おかしくを(お)かしく「ヘシコソ朱傍記」
 伊おかしう穂
 00 87 | 11 心ちそ心ちそへする徹
 00 87 | 11 けをへけを「濃墨」伊
 00 87 | 12 きはへときはへしう池肖三穂証
 00 87 | 12 おくを(お)く伊
 00 87 | 13 のとめてのとのとめて「ニミセケチカ」
 各
 00 87 | 13 持にこそちに(地に)こそ各
 00 87 | 14 所ところ各横池秀肖三伊兼穂徹証正と
 ころへへ横
 00 87 | 14 およひをを(お)よひを伊をよひを穂
 00 88 | 01 はたはたち「朱」大
 00 88 | 01 よそへよそ池
 00 88 | 01 かさふるかさふる各横池秀肖三伊兼穂吉徹
 証正
 00 88 | 01 ゆけたもゆのゆけたも池秀三穂ゆのゆたけ
 へたも池へゆのゆけたも三
 00 88 | 01 たとへしかるまじうたつへしかるまし
 う伊
 00 88 | 02 さやかにあさやかに伊兼さやかに
 徹
 00 88 | 02 つけたまへればつとつけ給へれば各横吉つ
 とつたれば池秀肖三伊穂徹証正つたれば
 兼

00 88 | 03 そはめもそはめに各横池秀肖三伊兼穂吉徹

証正そはめにも秀

00 88 | 03 めすこしすこし秀

00 88 | 04 所なふ所なく穂

00 88 | 05 いといと／＼穂

00 88 | 05 もてつけてもてつけ(け)て各もと(て)つ

けて池※

00 88 | 05 人よりは人より(は)も秀

00 88 | 05 心あらむと心あらむ(人)と「とニミセケチ

カ」各

00 88 | 06 したりしたる(り)秀

00 88 | 06 にきわしうにきはしく横肖三伊吉徹

正

00 88 | 06 おかしけなるを(控)おかしけなるを伊

00 88 | 07 そほるれはにほひおほくそほるれ(はに)□

ほひおほく「□」ハはノ上カラにヲ書イタモノ

カ」秀

00 88 | 07 おかしき(控)おかしき伊

00 88 | 08 あはつけしあわつけし(う)「墨」伊

00 88 | 08 えおほしおほし兼穂

00 88 | 09 みたまふみ給人の穂見給人の「人ニモミセ

ケチカ」証

00 88 | 10 そはめたる(そ)はめたる横そはめる徹

00 88 | 10 み給へみ給穂

00 88 | 10 かいまみ(ま)み秀(ま)み秀(ま)み秀(ま)み秀

00 88 | 11 なに心もなう(ま)に心もなく穂

00 88 | 11 さやかなるは(ま)さやかなるは伊兼

00 88 | 12 みたまはまほしきに(ま)み給へ(ま)み給へまほしきに

各「みたまふ(ま)まほしきに大見たまへまほ

しきに池秀肖三兼穂徹証正見給へほしきに

伊※

00 88 | 12 心ちすれば(心)ち(を)とすれば各

00 88 | 13 とくちにくちに横兼吉証「戸」口に「墨」

伊

00 88 | 14 えちかふもへえちかうも池ちかうも徹

00 88 | 14 より侍らすより侍らすときこゆれば伊

兼

00 88 | 14 こよひもや今夜もや徹

00 88 | 14 いと「いと」吉

00 88 | 14 あさましう浅様しく吉

00 88 | 14 からう(へ)からう(三)

00 89 | 01 あへけれあむへけれ秀あるへけれ吉

00 89 | 02 なひかしつへきなひかい(し)つへき秀な

ひかしつき肖なひかしぬへき穂

00 89 | 02 こそは(こ)そ(は)池(三)こそ肖穂徹正※

00 89 | 02 なれと(な)れとも「墨」伊

00 89 | 02 こゝろは(心)はえ(へ)伊

00 89 | 03 みつへくみつへしく横みつへくも池

00 89 | 03 しつまれるをとおほす「シ」まれるほ(を)

とを(お)ほす横

00 89 | 03 なりけり也(へ)けり「墨」伊なり兼

00 89 | 03 うちはてつるうちはつる秀

00 89 | 03 あらむ(あ)らん「墨」伊

00 89 | 04 うちそよめく心ちしてうちそよめきてこゝ

ちして横うちそよめきて肖徹正うちそよめ

き(く)心ちして三うちそよめく心地して伊う

ちそよめて心ちして穂うちそよめきてく心

ちして吉

00 89 | 04 あかるゝゝわるゝ穂

00 89 | 04 なとナシ穂

00 89 | 04 す也すめ(な)り秀

00 89 | 04 わか君はわかき(へ)み(は)吉

00 89 | 05 おはします(控)おはします伊

00 89 | 05 みかうしは御かうしは秀伊御かうしを

穂

00 89 | 05 ならずなりならずなりに池

00 89 | 05 しつまりぬなりしつまりぬるなり横穂吉へし

つまりぬるなり横しつまりぬ(へ)なり「墨、

後筆カ」伊しつまりぬ兼

00 89 | 06 たはかれと「た」はかれと穂

00 89 | 06 御こゝろは心は池三穂証御心は三御心は

伊※

00 89 | 06 たはむところなくたはん所なく池はたいは

ん(たは)わ(む)「墨、わ朱、後筆カ」伊

00 89 | 07 人すくならん人すくな(へ)らん「朱濃墨」

伊人すくならむ穂

00 89 | 07 おりに(控)おりに伊兼

00 89 | 08 いもうともいもうと君伊いも人も穂いも

うも徹

00 89 | 08 こなたにあるかこなたにるか穂

00 89 | 08 我に我に(へ)は肖

00 89 | 08 せさせよとせさせよと穂

00 89 | 08 のたまへと給へは横肖伊兼徹正の給へは

(と)三の給と穂

00 89 | 09 かうし(か)う(へ)各

00 89 | 09 されともされともと各横池秀肖三伊兼穂吉

徹証正

00 89 | 09 おかしくおかしう伊穂_をおかしう伊_へを_へ
 かしく吉
 00 89 | 10 おほせと_をおほせと伊
 00 89 | 10 しらせし_しら_らせし「墨」伊
 00 89 | 10 いとおしといと_をおかしと伊
 00 89 | 10 夜よ秀
 00 89 | 10 ことのナシ池三穂_事の三
 00 89 | 10 心もとなきを_心もとなきは穂
 00 89 | 11 こたみはこへのたみ(ひ)は各こた(き)み
 は池このたひは肖三徹正
 00 89 | 11 つまとを_とを池
 00 89 | 11 みな人_くみな人伊_くみな_く人穂
 00 89 | 11 さうしくちに_しやうしくちに穂さしくちに
 「ヨイカ」吉
 00 89 | 13 あまた_あま_た池
 00 89 | 13 ねたるへし_ふす(ね)たるへし「ミセケチ朱、
 ね墨、同筆力」伊
 00 89 | 13 はらはへ_わらは各横池三穂吉証_はらへ_へ
 大わらはへ秀肖伊兼徹正
 00 89 | 13 入てふしぬれは_ふしてふしぬれは吉
 00 90 | 01 入たてまつる_いれたてまつれる穂
 00 90 | 01 ひとつ_ましけれと_つましきこともこそ
 と穂
 00 90 | 02 みちひくま_にへみちひくま_に池
 00 90 | 02 やをら_やはら肖徹正_やは_をを_ら「ミセケチ
 ミエズ」三_やを_らを_し「らハシカ」伊
 00 90 | 02 いろ給_いて_いりたまふ池
 00 90 | 03 よの_夜の池伊吉徹証正
 00 90 | 03 するかりけり_しるかりける穂

00 90 | 03 女はさこそ_{00 91 08}ことにもあらねと「錯
 簡」徹
 00 90 | 04 おもひなせと_思なされて穂
 00 90 | 05 おり_をお_り伊
 00 90 | 05 ころにて_こちにて_未見_横心にて吉
 00 90 | 05 いたに_いたに_も各_いた_に「削訂力」
 池
 00 90 | 05 夜は_よるは各池秀肖三穂吉徹証正
 00 90 | 06 春ならぬ_はな_くらぬ穂
 00 90 | 06 このめも_こへのめも三
 00 90 | 06 いとなくいと_へなく_秀い_へつとなく「墨」
 伊
 00 90 | 06 こよひは_今夜は徹正
 00 90 | 07 こなたにと_こなたに_と「墨、本文同筆」
 伊
 00 90 | 07 いまめかし_くいまめかしう横穂吉
 00 90 | 07 ねにけり_ねけり伊
 00 90 | 08 いとよう_いとよく横肖三吉徹正_いとよう_く
 秀
 00 90 | 08 まとろみたるへし_まとろみたるなるへし
 穂
 00 90 | 08 かほを_かほ秀兼穂_{百十八}「を」濃墨
 伊
 00 90 | 09 すきまに_すきまに_たるにみれば各_すき
 ま吉
 00 90 | 10 けはひ_けわひの伊
 00 90 | 10 あさましく_あさましう穂
 00 90 | 10 ともかくも_ともかうも穂
 00 90 | 10 おきいて_をお_きいて_伊を_きいて

穂
 00 90 | 11 す_しなるひと_へをひと_つきて_すしなる
 ひと_へをひと_つきて_吉吉
 00 90 | 11 ひと_へをひと_つひと_へひと_つを池肖伊兼徹
 証正ひと_へを_一を秀ひと_へひと_つを三_ひ
 □一つおきて「□ハエカ」穂ひと_へひと_つ
 を証※
 00 90 | 12 ふしたる_ちふしたる横
 00 90 | 12 きぬを_きぬ横
 00 90 | 13 より給へるに_より給るに穂
 00 90 | 13 もの_くしくもの_くしう穂
 00 90 | 13 おもほしうも_をもほしも各横池秀肖三吉
 証_おも_ほしも横_おほしも肖伊兼穂徹正_お
 へも_ほしも三
 00 90 | 14 なとそ_なとや伊_なと_もそ_吉吉
 00 90 | 14 あさましく_あさましう横穂
 00 90 | 01 みえんも_見へ_えんも伊
 00 90 | 01 おこかましく_をお_こかましく伊
 00 90 | 02 ほしいの_人を_ほしいの_へ人_を「墨」伊_ほしいの_を
 兼
 00 90 | 02 たつね_たとり横吉
 00 90 | 02 あめれは_あんめれは横秀
 00 90 | 02 かひなふ_かひなく池秀肖三伊兼徹証正
 00 90 | 03 おこ_をを_おこ伊
 00 90 | 03 おも_はめと_思は_はめと伊
 00 90 | 03 おほ_すおも_ほす秀
 00 90 | 03 かの_よるの横
 00 90 | 03 おかしかりつる_をお_かしかりつる伊
 00 90 | 03 いか_はせむに_いか_はせん_にと伊肖

00 91 04 わろき ー わるき 池徹
 00 91 04 御こゝろあきゝ ー 御心あきし穂
 00 91 04 なめり ー なんめり 横
 00 91 05 いとおしき ー いとを(お)しき 伊
 00 91 06 なし ー なく 横吉
 00 91 06 ほとよりは ー かた(ほと)よりは 吉
 00 91 06 あえかにも ー あえるにも 池
 00 91 06 おもひ ー 補入 横
 00 91 07 おほせと ー おもほせと 各 横池秀肖三伊兼吉徹
 証正 お(も)ほせと「伊兼八墨」横伊兼
 00 91 08 なをつゝ ー むも世をつゝ ー むも池秀肖三伊兼穂
 徹証正
 00 91 09 いとをしけれは ー いとを(お)しけれは 伊
 00 91 09 御かたゝかへに ー 御かたかへに 穂
 00 91 09 いとかう ー いとよう 各 横池秀肖三伊兼穂吉徹
 証正
 00 91 10 いひなし 給ふたとらむ 人は ー いひなし 給らん
 人は兼
 00 91 10 心えつ へけれと ー こゝろへぬ へけれと 横吉こゝ
 ろへぬ ー 心えぬ 吉 ー 心えつ へけれは と 池
 00 91 10 いとわかき ー いと(わ)かき 肖 ー いとわかう(き)
 徹
 00 91 11 なれと ー なれ(と) 肖
 00 91 11 ゆへも なき 心ちして なを かの うれた き ー ゆへ
 なき 心ちして なを かの うれた き ー 「ゆへ なき ハ
 サラナル 補入」各
 00 91 12 なを かの ー なけは の 穂
 00 91 12 いみしく ー いみしう 伊兼穂
 00 91 12 いつくに ー いつこに 池秀肖三穂徹証正

00 91 12 はいま きて ー はいか くて 横吉
 00 91 13 おもひ るたらむ ー 思たらん 秀穂
 00 91 13 かく ー かう 穂
 00 91 13 おほすしも ー おほすにしも 各 横池秀肖三伊兼
 穂吉徹証正
 00 91 14 まきれ かたふ ー まきれ かた 横肖三吉徹
 正
 00 91 14 おもひ いて られ 給 ー おもひ いて られ 給 れい に
 ー すは した なき こゝち して 夜ふか くて 給
 各
 00 91 14 この 人の 此 人の 心ち 伊
 00 91 14 なま 心 なく なま(に) 心 なく 各 なに 心 なく 肖
 三伊兼徹証正 なに(ま本) 心 なく 三※
 00 92 01 あは れ なれは ー あは れは 穂
 00 92 01 なさ け ー しく なさ け ー う 穂
 00 92 02 かやう なるは ー かやう なる(は) ー 「墨」伊 ー かや
 う なる 兼
 00 92 02 あは れも あは れ 横池秀三伊兼証 あは れ 伊
 八墨、も力 三伊
 00 92 02 昔 人も ー むかしも 横 ー むかしも 人も 秀 ー むかし
 の 人も 肖 徹 正 ー むかし の 人も 三
 ※
 00 92 03 み な なら 身 な なら も 池 我 な なら 伊 兼
 00 92 03 え ま か す ま し く ー ま か す ま し く 池
 00 92 04 か ね て ー 「か」 ね て 池 思 に か ね て 穂
 00 92 04 む ね いた く ー む ね う ち いた く 穂
 00 92 04 忘 て ー わ す れ て は 伊 兼
 00 92 05 な と ー (な と) ー 「墨」伊 ー ナシ 兼
 00 92 05 な を ー しく な を ー しく 横肖三穂吉徹

正 な を ー しく 伊 な を ー しく(う)
 吉
 00 92 05 きこ え さ す ま し き ー きこ え さ す ま し 池
 00 92 06 う ら も な く ー う ら も な う 穂
 00 92 06 な へ て ー な へ て の 穂
 00 92 06 し ら せ は こ そ あ ら め こ の ち い さ き う へ 人 に
 ー し ら せ は こ そ あ ら め こ の ち い さ き 上 人 に
 肖
 00 92 06 こ そ ー こ そ は 横 伊 兼 徹
 00 92 06 ち い さ き ち ひ(ゐ) さ き 伊
 00 92 06 う へ 人 に ー う へ 人 な と に 池 秀 三 伊 兼 証 ー う へ 人
 (な と) に 三 人 な と に 穂
 00 92 07 つ た へ て ー つ た へ 証
 00 92 07 き こ え ん き こ へ(え) ン 伊
 00 92 07 け し き な く ー 気 色 も な く 吉 け し き も な く
 正
 00 92 08 と み ゆ る ー ナシ 池 秀 肖 三 伊 兼 穂 徹 証 正
 00 92 08 う す 衣 を ー う す こ ろ も を 各 横 肖 三 兼 穂 吉 ー う す
 き こ ろ も を 秀 徹 正 ー う す き こ ろ も を 肖 三 ー う す
 き こ ろ も(を) 徹
 00 92 08 ち か ふ ち か く 横 肖 三 吉 徹 正
 00 92 09 ね け れ は ー ね に け れ は 伊 吉 ー ね つ れ は(に け
 れは) ー 「ミセケチ濃朱、本文墨」伊 ー ね つ れ は
 兼
 00 92 09 お と ろ き ぬ(を) と ろ き ぬ 伊
 00 92 09 を し あ く る に ー お し あ け た る に 吉
 00 92 10 あ れ は ー ナシ 横 肖 吉 徹 正 ー あ れ は ー 三 ー か れ は
 穂
 00 92 10 お と ろ ー しく お と ろ ー しく 各 穂

00 92 | 10 わつらははしくて、わつらははしくへて、横へいと
 わつらははしくて「墨」伊
 00 92 | 10 いらふいらふ(ら)ふ各いふ徹正※
 00 92 | 11 なそと、なそ横池肖三伊徹証正、なそと
 池
 00 92 | 11 ありかせ給とありかせたまふ穂
 00 92 | 11 とさまへ、と(こなた)さまへ各、外(此方)さ
 まへ「ミセケチ朱、本文墨」伊
 00 92 | 12 こゝもとへ、たゝこゝもとへ肖
 00 92 | 12 君を、君をは各
 00 92 | 12 ちかき月、ナシ吉
 00 92 | 13 おはする、を(お)はする伊
 00 92 | 13 民部のおもとと、民部(せう)のをもと各みふ
 のおもとと穂、民部(少輔イ)のをもと正
 00 92 | 14 なめり、なんめり横、なめりかし池
 00 92 | 14 けしうは、けしう横
 00 92 | 14 おもとの、を(お)もとの伊
 00 92 | 14 たけたちかなと、たけたちなりなと池三穂
 証、たけたちかなと秀、たけたちか(なり)
 など三※
 00 93 | 01 これを、これを。(とイ本)「濃朱」伊
 00 93 | 01 いた、今たちならひ、いたち(たゝ、いた
 ち)ならひ「たいまノ傍記ヲミセケチカ」秀、い
 またゝ、いまならひ吉
 00 93 | 02 われも(我)も横も吉
 00 93 | 02 いてゝ、くいてゝ、へく横
 00 93 | 02 わひしければ、わひしけれと各横池秀肖三伊
 兼穂吉徹証正
 00 93 | 03 かくれたち、かくれたり(ち)「りノ上カラち

ヲ書ク」伊
 00 93 | 04 おもとは、ナシ穂
 00 93 | 04 こよひは、今夜は徹正
 00 93 | 04 給つる、給へる池伊兼徹正、給へつる肖、たま
 へる「や」吉
 00 93 | 04 はらはし横
 00 93 | 05 人すくななりとて、ひとすくなりとして「つる
 ノ上カラとてヲ書クカ」秀、人すくな(なり)と
 て「墨」伊
 00 93 | 05 まうのほりしかと、まうのほりし(か)と「朱
 墨」伊
 00 93 | 06 たふましく、へたゝふましく大
 00 93 | 06 なむと、となん横肖徹正、なと秀穂、となんと
 三
 00 93 | 06 うれふ、へうれふ「墨」伊
 00 93 | 06 いらへも、いらへへも秀
 00 93 | 06 きかて、せ(きか)て吉
 00 93 | 06 いまきこえん、今きこえなん伊、ナシ吉
 00 93 | 07 からふして、かう(ら)うして「墨」伊
 00 93 | 07 なを、南伊
 00 93 | 07 かるく、しくかるく、しく各池伊兼穂証、か
 ろく、しく秀※
 00 93 | 07 あやしかりけり、あやうかりけり各横池秀肖
 三伊兼穂吉徹証正
 00 93 | 08 二条院に、二条の院に各肖三伊穂吉、二条院へ
 秀
 00 93 | 08 おはしましぬ、おはし「まし」ぬ「符号有無不
 明」吉
 00 93 | 09 の給ひて、の給伊

00 93 | 09 つまはしき、爪は(は)しき「墨」伊
 00 93 | 10 いとを、しうて、いとを(お)しうて伊
 00 93 | 10 えきこえす、きこえす横池秀肖三伊兼穂徹
 証正、えきこえす横、「え」きこえす「補入
 カ」吉
 00 93 | 10 給へかめれば、給めれば伊兼
 00 93 | 12 おとりける、を(お)とりける伊
 00 93 | 12 みこそ、身にそ穂
 00 93 | 12 心つきなしと、心つきなげに(しと)秀
 00 93 | 13 おほと、のこもれり、御とのこもれり秀穂
 00 93 | 13 こ君を、このきみを横池秀穂、此小君を伊
 兼、このきみを証
 00 93 | 13 おまへに、御まへに秀肖三穂徹正、御前に伊
 吉
 00 93 | 14 うらみ、うらみ各※
 00 93 | 14 らうたけれと、らうたけれとも秀
 00 93 | 14 たらきゆかりに、こそえおもひはつましけれ
 と、ナシ吉
 00 93 | 14 こそえ、こそは横
 00 94 | 01 はつましけれ、はつましかりけれ横
 00 94 | 03 たゝ、うかみに、たゝ、各横池秀肖三伊兼穂徹証
 正、たゝ、うかみに、各たゝ、うかみに、に横※
 00 94 | 03 やうに、様に吉
 00 94 | 03 かきすきひ、かきすきみ横秀肖三穂正※
 00 94 | 04 みをかへてける、身(衣)をかへてける秀
 00 94 | 04 木のもとに、このもとに各池秀穂、木のもとに
 吉
 00 94 | 04 なを人からの、猶人からは池
 00 94 | 04 なつかしきかなと、なつかしきかな(と)

秀
 00 94 04 かきたまへるを かきたまへる吉
 00 94 05 おもふらんと思は(ら)んと三思はむと徹
 正
 00 94 05 いとをしけれどいとを(お)しけれど伊
 00 94 06 おもほしおほし肖徹正(お)ほし三(お)もほし伊
 00 94 06 かへしてかくして兼
 00 94 06 御ことつけ御ことつて肖穂
 00 94 06 うす衣はこうちぎのいとなつかしき人かにしめるをうすころもはこうちぎのいと(のなつかしう)なつかしき人かにしめるを(うつれるを)「傍記」なつかしうニミセケチカ」各
 00 94 06 うす衣はうすころもの「前項参照」各うすころもは「横未見」横秀兼吉うすきぬは肖三徹正(う)す衣は「□ノ上カラうヲ書キ、サラニ傍記」伊うす衣の穂
 00 94 07 人かに人(ひ)とかに穂
 00 94 07 ならしてなとして兼
 00 94 07 みあたまへり見い(ぬ)たまへり伊
 00 94 07 いきたれはゆきたれは秀いきたれは「朱墨」伊※
 00 94 08 いみしくいみしう穂

00 94 08 とかうとかく横肖三吉徹正
 00 94 09 おもひけむことおもはむこと横三伊徹正
 00 94 09 かうナシ徹
 00 94 09 心おさなき心をさなきころはへを各横池秀肖三伊兼証正心をさなき(ころ)は(へ)を各横(心)おさなき心は(へ)を三心をさなき心は(へ)を「伊ハ後出をニミセケチカ」伊兼をさなき心はへを穂心をさなき心はへを徹
 00 94 10 おもほす(お)もほす秀三(お)もほ(す)「□ハ」ヲ墨デ塗抹力」秀おほす肖徹正おほす伊
 00 94 10 くるしうくるしく各横池秀肖三伊兼吉徹証正※
 00 94 11 とりいてたりとりいてつ伊兼
 00 94 11 さすかにさすか穂
 00 94 12 みたれて思みたれたり池肖証みたれて(たり)三
 00 94 12 物はつかしき物のつかしき伊兼物はつかしうはしたなき穂
 00 94 13 ことなれは心ち(こと)なれは「墨」伊心ちなれは兼

00 94 13 うちなかめてうちなかめ秀
 00 94 14 こきみのこ君秀
 00 94 14 つけてもつけて徹正
 00 94 01 思ひうるおもうる秀
 00 95 01 心に心にも秀心ちに肖徹正心地に三
 00 95 02 しつむれしつむれと各横秀肖伊兼徹証正しつむれ(へ)各横しつむれと三※
 00 95 02 いとナシ証
 00 95 02 御けしきを御気色を(思)ひしるに「墨、合点」伊
 00 95 02 わか身ならばと我身ならば穂
 00 95 03 ものならねとものならねはと池
 00 95 03 ひかたければこの御たうかみのかたつかたにうつせみのはにをく露の木かくれてしのひ<にぬる>そてかな「落」秀
 00 95 03 御たうかみ御たうかみの「引用ヨイカ」兼
 00 95 03 かたつかたにかたつらに穂
 00 95 05 木かくれてこかくれて各池肖三吉証
 00 95 05 ぬるそてかなぬるそてかなとてやみにけり「とて以下ハ後補充」各ぬる袖かな一本云とてやみにけりと有「墨」伊